

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO法人にほんご豊岡あいうえお

1. 事業名称

散住地域における日本語教室からはじまる多文化共生のまちづくり

2. 事業の目的

- 日本語学習の場に恵まれない散住地域に住む外国人のために、新しく日本語教室を開設する。
- 日本語教室を通じて、同じ地域に点在する学習者同士をつなぎ、楽しく集える居場所をつくり、情報の発信 やネットワークを作る。
- 在住外国人が散住しているため、認知されていない生活者としての外国人の存在を、地域日本人住民にアピールし、学習者たちの声や要望、悩み事などがあれば、行政や地域に繋ぎ、現状や問題点を認識してもらい、よりよく生活できるように受け入れる側の理解やサポート体制を整える。

3. 事業内容の概要

村岡地域の中心部に場所を設け、豊岡地域からボランティア講師を派遣する出張型の日本語教室を開催する。地域の日本語学習を必要としている人たちの中には、日本に来たばかりのゼロ初級の学習者もいれば、もう何年も日本で生活している学習者もいるので、プロの講師やベテランのボランティア講師を中心に、それぞれのレベルをチェックし、いくつかのグループに分け、適切なカリキュラムや学習目標を設定する。遠方での開催のため、当団体のボランティアのみではなく、同じ但馬地域の国際交流協会など、日本語教室を持つ団体に声をかけ、できるだけ多くの参加可能なボランティアを募る。ボランティアはそのカリキュラムをもとにローテーションを組むなどして、支援者にとっても無理のない範囲での教室開催を目指す。また、授業のあとには30分ほどティータイムを設け、その際、必要であれば英語や中国語の通訳を介して生活相談なども受け付ける。ティータイムには、学習者の家族や地域の日本人にも参加を呼びかけ、地域のひととの交流を図る。日本語学習を通して、同じ国の出身の学習者や、同じ年代の学習者など、同じ地域に住みながら、知り合う機会がない学習者同士をつなぎ、おしゃべりの場として楽しく集える居場所を作る。それと同時に、定期的に日本語教室を開催することで、同じ地域に住む日本人にも「生活者としての外国人」の存在をアピールし、受け入れる側の理解やサポート体制、また、情報の発信や支援のためのネットワークを作っていく。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 10月11日(金) 10:00-11:00	1時間	村岡区中央公民館	朝倉寿文 田淵吉浩 陳響玲 岸田尚子 河本美代子	①自己紹介 ②事業の経過報告 ③生徒募集・PRの方法について ④家族の支援について	学習内容、クラスの開催時間について 広報などの募集記事掲載依頼について 家族の方同士の連携について
2	平成26年 2月27日(木) 9:30-10:30	1時間	村岡区中央公民館	朝倉寿文 陳響玲 岸田尚子 河本美代子	①日本語教室の活動報告 ②アンケートについて ③来年度の取り組みについて	学習者の参加状況などについて 作成した教材について 謝金などについて



5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 散住地域における生活者としての外国人のための出張日本語教室

(2) 目的・目標

散住地域に住む生活者としての外国人が、地元で無理なく継続して通える日本語教室を開催する。

家族や周りの人との円滑なコミュニケーションのための日本語を身につける。

生活のための日本文化や習慣を学ぶ。

必要に応じて、子育てに必要な日本語や車の免許を取るための日本語など、実生活に役に立つものを取り入れる。

(3) 対象者 地域で生活し、日本語支援を必要とする外国にルーツを持つひと

(4) 開催時間数(回数) 40 時間 (全 16 回)

(5) 使用した教材・リソース

・みんなの日本語 I II

・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案

・学校からのお知らせやチラシなどのレアリア

(6) 受講者の総数 10人

(出身・国籍別内訳 フィリピン1人、中国2人、ベトナム7人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年 10月27日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	7人	フィリピン(1) ベトナム(5) 中国(1)	自己紹介 「生活者としての外国人」より(31)	「人と付き合う」新しい学習者の名前、住所、電話番号などを聞き、自分で言ったり書いたり出来るように練習する。ひらがなカタカナの復習	旗谷慎二 河本美代子	陳響玲
2	平成25年 11月3日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	7人	フィリピン(1) ベトナム(6)	名詞文、数字 「生活者としての外国人」より(8) みんなの日本語1~3課	「物品購入・サービスを利用する」数字(値段)の読み方。名詞文「これは~です」「ここは~です」を学習し、買い物で店員さんにわからないものの場所を聞いたり、値段を聞いたり出来るように練習する。「これはいくらですか?」「靴売り場はどこですか?」など	旗谷慎二 卯野敦子	陳響玲
3	平成25年 11月10日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	6人	フィリピン(1) ベトナム(5)	月日・時間・曜日など みんなの日本語4課	月・日 曜日 時間の言い方。名詞文、動詞文の現在・過去形。自分のスケジュールが言えるように練習。「誕生日はいつですか?」「昨日は休みでしたか?」など	河本美代子 勝間良枝	陳響玲
4	平成25年 11月17日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	6人	フィリピン(1) ベトナム(5)	自分の行動について話す みんなの日本語5課	自分の行動を時間軸とともにきちんと言えるように練習。「いつ、どこで、だれと、なにを、どうした?」が言えるように練習。「昨日友達と電車で城崎へ行きました」など	旗谷慎二 勝間良枝	陳響玲
5	平成25年 11月24日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	日本語の発音について みんなの日本語発音「生活者としての外国人」より(8)買い物しよう2	日本語の発音の基礎知識を学ぶ。特殊伯、アクセント、イントネーションなど。日常の場面でよく使う挨拶がスムーズに出来るように練習「あつすみません」「おやすみなさい」など。食べ物メニューやさいの名前など	河本美代子 勝間良枝	陳響玲
6	平成25年 12月1日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語7課	「ナイフで肉を切ります」「これは日本語でなんですか?」など、手段の「で」の使い方。「あげます・もらいます」など、やりもらいを練習	旗谷慎二 卯野敦子 河本美代子	
7	平成25年 12月8日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語8課1	形容詞(い形容詞とな形容詞について)「さくらはきれいです」「村岡はきれいな町です」など練習	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	

8	平成25年 12月15日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語8課2	形容詞(い形容詞とな形容詞の復習)「～が～」と「～」。そして、「～」の使い方 自分の住んでいるまちや国について、どんなまちか言えるように練習	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	
9	平成25年 12月22日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語9課	「スポーツが好きです・きれいです」「日本語がわかります」「車があります」など。	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	
10	平成26年 1月12日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	「生活者としての外国人」より(34)	「住民としてのマナーを守る」ごみに関係する語彙を学ぶ。ごみの出し方や分別について、日本での習慣やマナー、地元のルールを理解する	河本美代子 勝間良枝 卯野敦子	
11	平成26年 1月19日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語10課	「～に、～がいます/あります」(存在)自分のうちや、町の中になにがあるか言えるように練習	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	
12	平成26年 1月26日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語11課	「もの」の数え方(助数詞)、時間の長さの言い方などを勉強。「私は日本に一年います」など	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	
13	平成26年 2月2日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語12課	形容詞の過去形「～かったです/～でした」比較「～より～」最上級「～がいちばん～」	旗谷慎二 河本美代子 勝間良枝	
14	平成26年 2月9日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	みんなの日本語13課	「～たいです」「～がほしいです」(希望)の言い方。「～へ～に行きます」	旗谷慎二 河本美代子 卯野敦子	
15	平成26年 2月22日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	「生活者としての外国人」より(05)	「事故に備え対応する災害に備え対応する」事故や災害に関する言葉を学ぶ。事故や事件にあった時の対処法を理解する。(警察への通報の仕方や避難経路の確認など)	旗谷慎二 河本美代子 勝間良枝	
16	平成26年 3月2日(日) 9:00~11:30	2.5時間	村岡区中央公民館	5人	フィリピン(1) ベトナム(4)	「生活者としての外国人」より(01)	「医療機関で治療を受ける」病気やけがに関する言葉を学ぶ。どんな時に何科に行くのか、日本語でどういうのかなど、多言語の翻訳を見ながら、理解できるようにする	旗谷慎二 卯野敦子 河本美代子	

(8) 受講者の募集方法

村岡人権便りに募集記事掲載●インターネットのホームページ及びFACEBOOKに募集案内●町役場にチラシ設置●公民館に募集のポスター掲示●外国人宅訪問やチラシのポスティング、電話での案内

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



平成25年11月3日(日)(第2回)

みんなの日本語第1～4課の語彙を復習。数字や値段の言い方を練習する。「生活者としての外国人」の(8)「物品購入・サービスを利用する」から、買い物に関する言葉・表現を、絵を見ながら一緒に読んで覚える。実際のスーパーのチラシをみんなで読んでみる。ロールプレイで、学習者が買い物客になり、ボランティアが店員や苦になり、商品の値段や、どこにあるかをたずねたりする練習をする。お金の言い方は、あまりうまく言えなかったため、家で練習することを宿題にした。

平成26年1月12日(日)(第10回)

「生活者としての外国人」の(34)「住民としてのマナーを守る」より、ゴミに関する言葉を学ぶ。「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「プラ」「紙」「ペットボトル」「ビンカン」など、地域のパンフレットのコピーを見ながら、分別の仕方を練習する。また、日本では新聞紙は地元の廃品回収に出したり、紙パックや発砲トレーをスーパーの前の回収箱に入れることができることを紹介。ゴミを減らすと、ゴミ袋代の節約にもなるし、エコにもつながるので、一石二鳥であることを伝えると、興味深そうに聞いたり、メモをしたりしていた。次に、実際の地域の込み回収カレンダーをみて、いつ、どこに、何を出せばいいのかを確認。自分で家でもやってみることを宿題にした。

(10) 目標の達成状況・成果

日本に来て何年も経つ人から来たばかりの人までいて、日本語の既習度がバラバラでなかなか足並みがそろわなかったため、授業のはじめに、ボランティアさんと学習者がいくつかのグループに分かれて、復習や宿題の答えあわせする時間を作ったり、個別に指導してもらうなどして対応した。中にはよくできる人もいたが、ほとんどが生活の中で身につけた日本語であるため、文法が不正確だったり、発音が曖昧だったり、語彙に偏りがあったりする。今回のようにテキストをつかって勉強することで、語彙が増え、日本語の読み書きの練習にもとても役に立ったようである。また、会話ではなんとなく伝わっていた発音を、きちんと意識して正しい発音に直すことができたり、きちんとした文を発話しようという意識が出てきたように思える。日本にきて間もない学習者も、教室できちんと文法を勉強し練習することで、日本人との会話に少し自信がもてた様子である。日本語を理解しようという姿勢も、同じ国の出身者同士でわかるひととわからないひとが、意味を翻訳したりして、お互いに協力しているものさばらしいと思う。

(11) 改善点について

週に1回なので、前回勉強したところを忘れてしまったり、仕事が忙しくて、宿題や自主勉強ができなかったりする人が多い。公共の交通機関の便も悪く、免許がなくご主人に送迎してもらわないといけない等の事情もあり、できるだけたくさんの方が来られる曜日と時間帯に教室を設置した。そのため、遠方の出張型教室であるにもかかわらず、朝早いクラスになってしまい、ボランティアの負担が大きくなってしまった。また週に1回なのでどうしても予定があわず、教室に来られない人へのサポートをどうするのが、今後の課題と言える。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 学校からの手紙を読んでみよう～語彙、用例集～

(2) 対象 地域で生活し、日本語支援を必要とする外国にルーツを持つひと

(3) 目的・目標

- 子供が学校からもらってくる手紙や連絡帳を読んで、必要な情報を手に入れることができる
- 年間行事の内容や日時、場所、持ち物などをきちんと理解できる

(4) 構成・総ページ数 38ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 8月2日(金) 10:00~12:00	2時間	あいうえお事務所	勝間良枝 河本美代子	教材や参考資料の検討	教材のおおまかな内容。資料の収集の方法や、必要な資料の選定など。
2	平成25年 10月4日(金) 10:00~12:00	2時間	あいうえお事務所	勝間良枝 河本美代子	教材の内容に関する検討	添付資料作成 ルビ付けなど 語彙帳にのせる単語のリストアップ
3	平成25年 11月8日(金) 10:00~12:00	2時間	あいうえお事務所	勝間良枝 河本美代子	教材、語彙帳に関する検討	内容の検討、語彙帳の内容に関して間違いがないかどうか、適切であるかどうかを検討
4	平成26年 2月20日(木) 10:00~12:00	2時間	あいうえお事務所	勝間良枝 河本美代子	教材、語彙帳に関する検討	テキストの構成やレイアウトについて検討
5	平成26年 3月17日(月) 10:00~12:00	2時間	あいうえお事務所	勝間良枝 河本美代子	教材、語彙帳に関する検討	レイアウト 構成等見直し 最終確認

(6) 使い方

コピーして、就学年齢の子どもを持つ外国人の母親に配布。実際に子どもがもってきた手紙を読むときに、参考にしたり、わからない語彙が出てきたときに意味を調べたりする。

(7) 具体的な活用例

クラスで使用する場合は、まず基本的な学校の年間行事やそれに関係するお手紙の種類について学ぶ。次に実際の手紙の例を見ながら、手紙のパターンをいくつか見てみる。その中で、文書独特の言い回しや季節のあいさつ、接続語の特徴などを学び、どこに何が書いてあるのか、どこが大切な部分なのかを、見分けられるように練習する。さらに、実際の手紙(レリア)を用いて、読む練習をし、その中でわからない言葉は語彙集で調べたりして、内容が理解できるようにする。

(8) 成果物の添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

●日本語学習の場に恵まれない散住地域に住む外国人のために、新しく日本語教室を開設する。●日本語教室を通じて、同じ地域に点在する学習者同士をつなぎ、楽しく集える居場所をつくり、情報の発信やネットワークを作る。●在住外国人が散住しているため、認知されていない生活者としての外国人の存在を、地域日本人住民にアピールし、学習者たちの声や要望、悩み事などがあれば、行政や地域に繋ぎ、現状や問題点を認識してもらい、よりよく生活できるように受け入れる側の理解やサポート体制を整える。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

アンケートを通じて、日本語の教室の成果として、「日本語が上手になった」「家族との会話が増えた」など、とても前向きな回答が多かった。これは、実際の日本語の能力の向上はもちろん、日本語教室で勉強しているということが自信につながり、学習者がこの教室を続けていきたいという積極的な希望の表れではないかと思う。日本語の勉強を通じ、自分の行動範囲が少しずつ広がっている様子である。同じ地域に住む学習者同士で毎週会う機会ができたことも、楽しみのひとつになっており、居場所としての役割も果たしている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

学習者のほとんどが初級で、中には入門レベルの人でも何人かいたため、内容が難しく、あまりたくさん取り入れることができなかった。場面設定は身近でわかりやすいが、やはり語彙が未習のものが多く、説明するのが難しかったので、それぞれの内容にあった翻訳教材をインターネットでさがして利用した。ぴったり合うものがなかなかなく、また今回はベトナム語母語話者が多かったため、ベトナム語の翻訳教材が少なく困った。できれば、文法項目をある程度学んでから使用したい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

広い地域に散住し、これまで認知されていなかった地域生活者としての外国人の姿が、日本語教室を始めることで、町や地域の人に存在をアピールすることができた。公民館と共催で、PRにも力をかけてもらった。地元の方にも興味をもってもらい、見学などもあった。来年度は町の事業として、日本語教室への支援やボランティアの養成講座開催も検討してもらえるなど、町全体としての意識が高まったことが一番の成果と言える。

(5) 改善点, 今後の課題について

日本語教室については、標準的カリキュラム案をもっと多く取り入れたかったが、①学習者の能力がまだ低い
②新しい教材なので、ボランティアによっては準備などに負担がかかるということもあり、あまりできなかった。カリキュラムの中でも、初級の人でも理解でき、必要度の高い項目はどこか、どんな副教材を準備すればいいか、検討していく必要がある。また今回は出張型の教室だったため、地元の情報やレアリア(ゴミ分別カレンダー、災害マップなど)が手に入れにくかった。地域のボランティアをもっと増やして、最新の有用な情報の提供を共有する必要がある。

教材については、これからどんどん外国にルーツを持つ子どもが増えていくことが予想されるので、子どもを持つお母さんに配布したり、教室でも希望があれば勉強する。今後も語彙を増やしたり、翻訳する言語を増やしたりして、改良を重ねていく必要がある。

(6) その他参考資料

夕がロク

<にほんごきょうしつあんけーと>
<日本語教室アンケート>

1. 日本語教室にきて、できるようになったことは何ですか? をつけてください。

Nakakabasa na ng hiragana at katakana.
() ひらがな・カタカナがよめるようになった。

Nadaragdagan ang mga alam na salita.
() 知っている言葉が増えた。

Naging mahusay na sa pagsusulat ng salitang hapon.
() 日本語を書くのが上手になった。

Naging mahusay na ang pagbigkas sa salitang hapon.
() 日本語の発音が上手になった。

Naging mahusay ang pakiking sa salitang hapon.
() 日本語がよく聞き取れるようになった。

Nadaragdagan ang komunikasyon pargpamilya.
() 家族との会話が増えた。

Nagkaroon na ng kaibigan.
() 友達ができた。

Nakaka-intindi na ng kultura at kaugalian ng bansang hapon.
() 日本の文化や習慣がわかった。

Madalas ng pakiki-pagkomunikasyon sa mga hapones/haponeso.
() 日本人とよく話すようになった。

Sa karagdagan, isulat ang bagay na nakabuti sayo.
その他、よかったことを書いてください。

NAKAKAPAGKOMUNIKASYON NA BKO SA MGA KASAMAHAN SA TRABAHO AT MADALAS NA KAMI MAG-USAP NG ASAWA KO AT NG NAMA NIYA.

2. 日本語教室にきて、困ったことやよくなかったことはありますか?
Merong bang haging problema o hindi naging maganda sa Japanese classroom? ないです。

3. これからも続けたいですか?
Itutuloy mo pa ba ang pag-aaral mo?

はい
opo
 いいえ
hindi napo
 わからない
hindi ko po alam

<日本語教室アンケート>

1. 日本語教室にきて、できるようになったことは何ですか? をつけてください。
Đến lớp tiếng nhật, đã làm được việc gì? Hãy đánh dấu trên
- () ひらがな・カタカナがよめるようになった。 Có thể đọc được chữ hiragana, katakana
 - () 知っている言葉が増えた。 Đã tăng lượng từ mới biết.
 - () 日本語を書くのが上手になった。 Giỏi việc viết tiếng nhật.
 - () 日本語の発音が上手になった。 Giỏi phát âm tiếng nhật.
 - () 日本語がよく聞き取れるようになった。 Giỏi nghe hiểu tiếng nhật.
 - () 家族との会話が增えた。 Giao tiếp (nói chuyện với gia đình) tăng lên.
 - () 友達ができた。 Đã có bạn (Có thể kết bạn)
 - () 日本の文化や習慣がわかった。 Hiểu được văn hoá và tập quán, thói quen ở nhật
 - () 日本人とよく話すようになった。 Nói chuyện được nhiều với người nhật

その他、よかったことを書いてください。 Việc khác, hãy ghi việc tốt khác.

-
2. 日本語教室にきて、困ったことやよくなかったことはありますか?
Đến lớp tiếng nhật, Có gặp khó khăn hay việc không tốt (việc xấu) không?
~~Đến lớp tiếng nhật có chút khó khăn vào mùa đông không có xe buýt.
冬には日本語教室に来るのは困ったことがある。バスがないから。~~
3. これからも続けたいですか? はい いいえ わからない
Từ bây giờ muốn tiếp tục không? Có không không hiểu.

あいうえお日本語教室（村岡地域）

はじめまし(^_^) NPO法人にほんご豊岡あいうえおです。
むらおかちいき にほんごきょうしつ かいさい
村岡地域で日本語教室を開催します。
いっしょ にほんご べんきょう
一緒に日本語を勉強しませんか？
かぞく みな けんがく き
ご家族の皆さんも見学に来てください。

と き：毎週日曜日 午前9時～11時30分

ところ：村岡区中央公民館

参加費：200円



【問合せ】

NPO 法人にほんご豊岡あいうえお
豊岡市昭和町2-50河本ビル102
TEL/FAX (0796) 20-4037
携帯：(080) 9478-5525
メールアドレス：aieuo_nihongo_toyooka@softbank.ne.jp

はじめまして！NPO法人 にほんご豊岡『あいうえお』です!!

国際交流から多文化共生へ

『あいうえお』の趣旨

豊岡市また兵庫県北部但馬地域で暮らしている外国にルーツを持つ人々に対して、日本語教室及び生活支援に関する事業を行い、相手のルーツを尊重し、お互いに協力し、助け合える居場所づくりを目指し、但馬地域に住むすべてのひとが相互に理解し、暮らしやすい環境づくりに寄与することを目的としています。

『あいうえお』の活動

生活するための日本語、文化、生活習慣などを学ぶ日本語教室を開催します。



季節のイベント、お互いの国の文化、言葉、料理などを知るための国際交流イベントを開催し、地域のひとと交流する場を提供します。



外国にルーツを持つ子どもとその家族を支援します。



誰もが楽しく集い、困ったときにはいつでも相談できる、そんな居場所を作ります。



外国にルーツを持つ子どもとは??

外国籍の子どもはもちろん、日本国籍であっても両親のどちらかが外国人である場合を、外国にルーツを持つ子どもと呼んでいます。近年では、結婚後に母国から家族を呼んで一緒に暮らす「呼び寄せ家族」の存在も、だんだんと注目されるようになってきました。

『あいうえお』が目指していること

私たち『あいうえお』が目指すのは、草の根の交流、つまり、外国にルーツを持つ人々が、その地域住民と自然に楽しく交流ができ、地元での生活にしっかりと根付いていくことです。はじめは、日本語が話せなかったり、日本の生活習慣に馴染めなかったり、文化が理解できなかったりするので、自立支援のためのいろいろなサポートが必要です。でも、いつか国籍に関係なく、同じ地域に住む住民の一員として、お互いに助け合って暮らして欲しいと思っています。私たちは、そのお手伝いをしていきます。そして、多文化が共生できるまちづくりに寄与することを目指します。